

平成26年12月 定例委員会々議録

- 1 日 時 平成26年12月25日(木) 午後1時30分～
- 2 開催場所 会議室301
- 3 出席委員の氏名
委員長 齋藤和夫 委員長職務代理者 黒川優子
委員 中野信男 委員 秦久美子
教育長 上原洋一
- 4 欠席委員の氏名 山崎克弥
- 5 説明のため出席した職員
教育次長 金子彰男 学校教育課長 山田公一
子育て支援課長 伊藤謙治 社会教育課長 堀克彦
- 6 本委員会書記
学校教育課 猪股加代子
- 7 傍聴人
1名
- 8 会議に付議した事件
諸報告
(1) 行事報告及び行事予定
(2) 教育長報告
(3) 寄付報告
(4) 共催・後援の教育長専決報告

協議題
(1) 新規後援申請

その他

会議録 別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後13時30分～

2. 会議録署名委員の指名 黒川優子委員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

《各課長が報告》

(2) 教育長報告

〈上原洋一教育長が報告〉

● 12月定例市議会報告（12月11日～16日）

○ 一般質問20人中教育委員会には8人から20項目について質問があった。

主なものは

○ 少子化対策における官民協働について。県補助事業を活用し市民が未婚者を良縁につなぐことを目的とした「縁結びサークル」の設立、活動支援をはじめ出合いの場の創出等活動団体との連携を進める。

○ 新教育委員会制度について。この度の法改正により、首長主宰による総合教育会議の設置など、市長と緊密に連携できるものと認識しており、教育委員会は引き続き執行機関として教育行政を担っていく。

● 燕市子どもを育む推進協議会（11月27日）及び燕市いじめ防止対策等専門委員会（12月19日）

○ 燕市いじめ防止基本方針に基づく上記会議が開催された。ともに燕市の現状、課題と対策について積極的に意見が出された。

● 燕キャプテンミーティング（12月24日～26日 産業会館）

○ 公演、ゲーム、コミュニケーション活動等をとおしてキャプテン、リーダーとしての役割を学び、課題解決能力やコミュニケーション能力を育むことを目的として初めて開催する。3日間でのべ100人が参加。

○ 24日の開講式では市内中学校の1,2年生37人を代表して小池中2年野球部部長の野水涼太さんから決意の言葉が力強く述べられた。

● その他参加した主な行事等

○ 分水消防署竣工式（11月29日）

○ 燕弥彦PTA連絡協議会（11月29日）

- 新潟県写真芸術協会授賞式（11月30日 新潟市チサンホテル）
- 燕市文化会館運営審議会（12月18日）

○委員（中野 信男）

教育長報告の中に教育長が現在、気になる話題についても提供をいただきたい。それによって、教育長の考えが分かるし、現状についても理解、認識が出来ると思われる。

○教育長（上原 洋一）

タイムリーな課題等については、提供をしていきたいので、是非、ご意見をお願いしたい。

○委員（黒川 優子）

昨年12月、指導主事が燕の学校の教え方について感想を述べられた中で、燕の先生方は子どもを指導する時間が非常に多く、先生が話している時間が長い。一生懸命であるが、子ども達に聞いたり、子ども達が発言する時間が少ない。それでは、子どもは伸びないとまで言われたが、その後の状況はどうか、現在の指導主事がどのような感想を持っておられるのかお聞きしたい。

○教育長（上原 洋一）

4月の人事異動により、指導従事は大幅にメンバーが変わっているが、ご心配の件については、引き続き強く指導し、先生方に助言を続けているスタンスは変わっていない。先生方も、人事異動により大幅に毎年変わるので、新しく来られた方で、教師主導となり、先生が中心で、ずっと話をする授業が見受けられた場合、助言をしていることは学校訪問の記録で確認している。

小学校においては改善が進んできているが、中学校は、教える分量が多かったり、進めるペースが速かったりするため、先生方が中心となる必要があることがある。今回の英、国、数の3教科で始まった中学校の学力向上対策授業を見ると、子ども達が活動する場面を増やそうとする観点から協議会を開催し、県教育センターの指導主事の助言を受けて改善が進められてきている。

昨年からはじめた数学については、最も進んでおり、先生方からも活発に意見交換を行いながら確認している。

○委員（黒川 優子）

学校の問題点については、引継ぎが行われているということになるのか。

○教育長（上原 洋一）

今年の方が授業スタイルについて、指導主事の方からアドバイスを先生方が意識的に取り組んでいるものと思われる。

○主幹（村山 幸一）

教師が一方的に教える授業が悪いかというとはなく、学習内容によっては、きっちり教えるところは教え、考えさせるところはじっくり考えさせる。メリハリをねらい、まとめ、振り返りを黒板の板書を工夫しながら、今年度は重点的にやっている。

○委員長（齋藤 和夫）

来年度から、教育委員会制度が変更になるとの話があったが、教育委員会部局以外のところから見た場合、現在の教育委員会行政に問題があったようにも思われる。

問題を常に先取りして、教育行政にあたっていただきたい。

新聞等に取りあげられた問題等については、直ぐに対応できるような対応をお願いしたい。

4. 協議題

(1) 子ども夢づくり支援事業について

分水小学校・分水北小学校・島上小学校 児童合同音楽鑑賞会

「本物の音、本当の気持ち、君・みんなに・未来に届け！」

《山田学校教育課長が説明》

○委員（黒川 優子）

同じ地区において、学校の横つながりが見えて良い事業と思われる。

○委員（中野 信男）

3校の申請により、それぞれの学校により表現に違いがあり、学校のねらいがわかりやすく、大変良いことと思われる。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5 その他

(1) 市議会12月定例会一般質問概要について

《金子教育次長が説明》

○委員（秦 久美子）

適応指導教室を市内3カ所に設置とあるが、どこに設置されているのか。

○学校教育課長（山田 公一）

中央公民館に併設した「エンゼルルーム」、吉田武道館に併設してある「山吹の部屋」、分水公民館に併設「タンポポの部屋」を3地区にそれぞれ1カ所ずつ、学校外に教室を設置している。

○委員（秦 久美子）

いじめと児童虐待数についてとあるが、虐待報告のあった18歳未満の児童の人数は、虐待を受けた当事者からの報告なのか、第三者からの報告数となるのか。どのような報告方法となるのか。

○学校教育課長（山田 公一）

当事者からの報告は難しい、病院、近隣の通報、幼稚園、保育園の観察等、すべてを含めての報告の数となる。

○委員（秦 久美子）

虐待を確認した数字とのことと考えていいのか。

○子育て支援課長（伊藤 謙治）

通報があった人数となる。

○委員（秦 久美子）

通報があった人数となると、かなりの人数と思われる。隠れている人数もあると思われる。

家庭内虐待も考えられるので難しいと思われるが、対応を考えていただきたい。

○教育次長（金子 彰男）

児童相談所が、家庭内に入りやすくなってきており、住民の意識が高まってきており、通報件数も増えてきているようだが、最終的には親権を大切にしなければいけないとのことで、苦慮されているようである。

対応できる職員数の確保も出来ていないことも考えられる。

○委員（秦 久美子）

難しいと思われませんが、最悪の事態だけは起きないように対策をお願いしたい。

○教育長（上原 洋一）

相談窓口については、毎回、市の広報の最終頁に掲載されている。それだけで十分とは思われるわけではないので、来年度に向けて、充実を図っていくものと考えている。

○委員（秦 久美子）

相談する勇気がなかったり、電話をかける勇気がない人もいる。相談窓口のPRの強化等、地域全体で協力していく方法を検討していただきたい。

○教育長（上原 洋一）

健康福祉部の職員は、外に出向いて相談にのっているのが現状である。旧吉田庁舎に総合福祉センターを設置して、来年度は支援していくものと考えている。

保育園、幼稚園においては、お迎えの時に於ける相談の強化や保護者等と緊密に連携をとり、園児の見守りを大事にしていると考えている。

審議の結果、全員異議なく承認された。

5. そ の 他

(1) 指定管理者候補者の選定結果について
(粟生津公民館・粟生津体育センター、吉田北公民館・吉田北体育センターについて)

《堀社会教育課長が報告》

6. 閉 会 午後3時00分

委員長 齋藤和夫

会議録署名委員

会議録調整者
